

## 客観的な指標の算出方法・成績の分布状況

○令和元年度

### ■客観的な指標の算出方法

座学は試験を70点満点、授業態度20点満点、出席10点満点の合計100点満点で表す。

実習は実技試験が70点満点、授業態度20点満点、出席10点満点の合計100点満点で表す。

学科名	専門調理技術科	1学年	学生数	26
-----	---------	-----	-----	----

### ■成績の分布状況

評価	D	C	B	A
指標の数値	～59点	60～69点	70～84点	85～100点
人数	0	2	12	12

下位1／4に該当する人数 6人

下位1／4に該当する指標の数値 77点以下

平均点 83.3点

※備考：評価Dでは進級は不可であるため、追試験を行い評価Cとなり進級した。

## 卒業の認定に関する方針

- ◆学年末において、各学期末に行った試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して単位を与えるものとする。すべての科目の単位取得を卒業認定条件とする。
- ◆出席時数が3分の2に達しないものは、その科目について評価を受けることができない。よって、進級・卒業はできない。
- ◆出席時数が3分の2以下で、時数が満たないために単位数が得られない場合は、時間外又は卒業延期等の方法により必要な補習を行い、単位を与えることができる。
- ◆85～100点をA評価、70～84点をB評価、60～69点をC評価、59点以下をD評価としている。D評価の場合は、追認試験を受けることができる。
- ◆出席状況・試験結果・提出物・受講態度等に基づき評価点60点以上を単位の認定とする。